

東広島植物園では、園内での活動を中心に、温室や圃場で見られる季節の花など、さまざまな情報を紹介しています。

☆組織改編・・・植物管理室は、2019年4月より統合生命科学研究科・附属宮島自然植物実験所の所属となりました。

発見の小径の災害復旧



一昨年の豪雨災害により崩壊したのり面の復旧工事が昨年の秋に始まり、大型車両が発見の小径に乗り入れ、一時的に自然環境が壊されましたが、施設部の配慮もあり、損傷は最小限に抑

えられました。のり面は、モルタルで固められ4種の種子が吹き付けて工事が完了しました。



これまで、植物で覆われていた川岸は、護岸が現れすっきりとなりました。

ホタルの生息地にもなっている箇所には、外来種子の吹き付けではなく、ノシバを敷いてもらいました。このように、大学の理解のもと、キャンパス内では生き物に配慮した対応が各所でなされています。復旧工事の行われた場所にはアカマツの実生苗が随所にみられるようになり、今後の植生の変化にも注目です。

野鳥調査 2年目

「東広島の野鳥と自然に親しむ会」のみなさんを中心に行われているキャンパスの野鳥調査も2年目となりました。1年目の調査では見られなかった鳥が、今年は何種も確認することが出来ました。



双眼鏡やカメラで野鳥の数を調べるみなさん

2年にわたる調査によって、キャンパス内の自然や生き物について多くの発見がありました。継続して行うことの大切さを実感しました。何年か後に、また調査が行えればと思います。今回の調査では、今後のキャンパスの自然環境保全のあり方を考えていく上でも非常に貴重な情報をたくさん得ることが出来ました。

チューリップの植え付け



今年も大学生協様より、球根を寄贈いただきました

11月26日に、中央図書館前の花壇にて、教職員・学生のボランティア26名にて、チューリップ球根の植え付け作業を行いました。5色のチューリップは手際よく植ええられ、いつもより早く作業を終えることが出来ました。



留学生のみなさんも多数協力してくれました。ここでの活動は、日本での、広島大学でのいい思い出になっているようです。

栽培実習・R1秋コース



学生さんが自分で育てたダイコンとハクサイが、かわいいサンタクロースになりました。

R1年秋コースは、予定通りの作業をすべて終わりました。実習が終わっても、収穫しきれない野菜がたくさん残っているので、参加されたみなさんは、引き続き収穫に来ています。自分1人では食べきれず、友達や先生にも配っているようです。野菜の美味しさを、ぜひ広めてください。



桜の管理・苗の育成

サクラで満開のキャンパスを目指して



平成27年に国際協力研究科に植えられたサクラの苗木が、成長が良くないため、一時的に植物園に保護しました。もう少し鉢植えにて育成し大きく育った後に、キャンパス内に植える計画です。



新しい苗木の購入も行いました

学童保育の自然体験

12月25日、学童保育の子どもたち11名が、園内にて自然体験を行いました。園内の圃場でとれた4種類のサツマイモでおいしい焼きいもを作りました。また、しめ縄作り体験では、わらを整えるところからすべての工程を一人で行いました。



園内の花

テリハギク *Aster lucens*



キク科

石垣島や西表島に生育する多年生草本。八重山諸島の固有変種。花期は10~3月。山地の森林内の岩場になっているところが多く見られる。

園内の樹木

クロガネモチ *Ilex rotunda*



モチ/キ科

関東以西の暖地に生育する常緑高木。雌雄異株で雌株には赤い実がたくさんつき公園樹などとして植栽される。実は鳥によって運ばれ芽生えてくる。



【お問い合わせ先】

広島大学 統合生命科学研究科
東広島植物園

TEL:082-422-7111
(内線2842)

E-mail: tshioji@hiroshima-u.ac.jp